

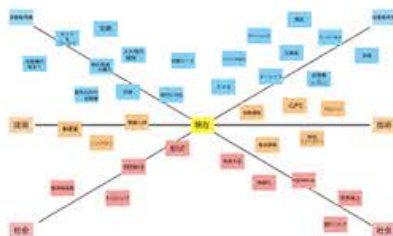
おもわず買いたくなる観光地限定の自動販売機システムの提案



CONCEPT

2020年までに実現可能な自動販売機のシステムについて考えた。現状コンビニより自動販売機のほうが多いにもかかわらず、多くの人がコンビニで飲み物を購入している。そこで、観光地を巡りながら楽しめるシステムを提案する。

PROCESS



JANUSCONES

過去に起こった自動販売機、技術、社会の3つの要素についての変化を調べ、それを元に2020年にかけての未来についてキーワードを考えた。



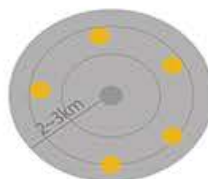
CONTEXT MAP

JANUSCONESを元に、キーワードを6つに絞った。さらにこの中から、「VSコンビニ」「スマホ」をピックアップし、今回のテーマとした。

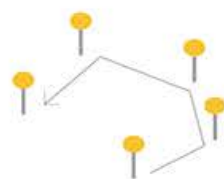
DIAGRAM



全国の観光地をピックアップし、それぞれの場所で自動販売機を検索できる。



観光地の2~3kmの範囲に入ると自動販売機のある位置とその売り切れ情報をスマホから確認できる。



観光地にある自動販売機を巡るとスタンプがもらえ、観光を楽しみながら集めることができる。

外国人に優しい自動販売機の提案



SELECTION

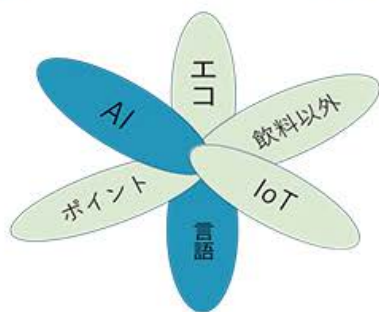
English
Espanol
Nederlands
Deutsch
Portugues

Concept

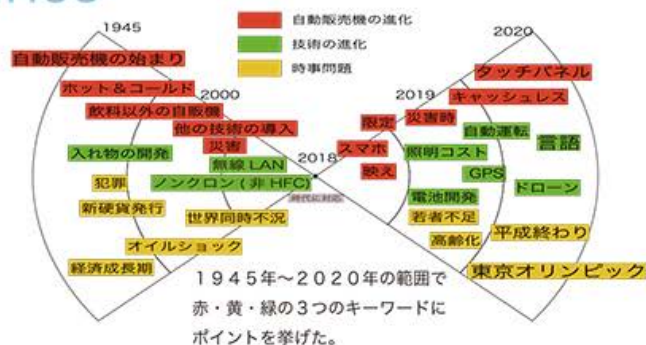
約2年後の2020年東京オリンピック開催に伴い、外国人観光客が増えることを想定した。そこで従来の自動販売機に音声とタッチパネルの2つの機能を搭載し、様々な国の言語に対応可能にすることで、観光客がスムーズに自動販売機を利用できるようにした。

Context map

JanusCones を元に関連する6つのキーワードを並べた。その中から「AI」と「自動運転」の2つを取り上げた。



JanusCones



Contents

